

スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

日本自立生活センター自立支援事業所 2016年3月29日発行 第60号

2016年4月1日 障害者差別解消法施行 & 京都府障害者権利条例 1周年 記念街頭アピール

ついに！障害者差別解消法が施行されます。そして京都府障害者権利条例が1周年！

この法律は、障害当事者や福祉関係者のみならず、すべての市民に関係のあるものです。しかしながら、まだ街の人にはなかなか知られていないのが現状です。京都では、法や条例、相談窓口のことをもっと多くの人に知ってもらうために、4月1日にティッシュとパンフレット配布のアピールを計画しています。この日は日本の社会にとって歴史的な日です。当事者が体をはって取り組んできた運動のひとつの大きな成果だと思えます。障害者差別解消法の施行は、本当に本当に画期的なことです。

日本中の人に、このことを「自分ごと」としてもらうために、ぜひ京都でも一緒にアピールをしましょう！差別で悔しい思いをすることがなくなるように、誰もが安心して暮らせる社会をつかっていくために・・・。



2016年4月1日（金）街頭アピール

- ◆阪急西院駅前（西大路四条南西角集合）
8：30-9：00、16：00-17：00（担当：松波）
 - ◆大手筋商店街（一番街・近畿労金前集合）
12：00-13：30（担当：矢吹）
 - ◆北大路駅前（烏丸北大路南西角大垣書店前集合）
16：00-17：30（担当：粟津・野々村）
 - ◆四条烏丸交差点（北西角 LAQUE 前集合）
11：30-13：00（担当：横川）
- 部分参加でも複数回参加でもOK！お誘い合わせて来てください♪
ティッシュやパンフレットの設置をしてくれるお店なども大募集☆

◆障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会◆
〒601-8036
京都市南区東九条松田町 28 メソングラス京都十条 101 JCIL 気付
TEL：075-671-8484 FAX：075-671-8418
E-mail：kyotojorei_enable@yahoo.co.jp
URL：<http://www.jouyakukyoto-hamon.com/>

日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当：横川

ご意見・企画のアイデアなど大歓迎！バックナンバーはホームページ↓で読むことができます。

TEL：075-682-7950 E-mail：jcil-kyoto@jcil.jp URL：<http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html>

居場所づくり勉強会第40弾報告

～途上国の貧困問題に向き合う・フィリピンの貧困の現状 Part 2～

2月の居場所づくり勉強会は、築瀬さんのフィリピン報告 part2でした。今回も前回につづき貧困問題の報告でしたが、今回の焦点は8人家族のストリートファミリー（路上生活する家族）です。スライドで見せてもらった写真からは家族の劣悪な生活の実態が浮かびあがりました。子供たちがごみ置き場のようなところ、コンビニの前、車の下に段ボールを敷いて眠る写真からは、暖かい南国とはいえ、子供たちが様々な危険と隣り合わせの生活をしていることがわかります。今回訪問したストリートファミリーには家はあるのですが、川にせり出した板やブリキで作った家であり、衛生上の問題や、洪水時の倒壊の危険性を感じさせるものでした。特に、彼らの家とその背後にある白壁のきれいな家々との対比が印象的で、フィリピンの経済格差を



象徴しているように思いました。また家族が主食としているのは、パグパグという、ファストフード店から出た残飯からごみをふるい落として（パグパグとはタガログ語で振り落とすという意味）調味して揚げた料理で、病気や毒素に感染するリスクがあるということです。

このように、報告していただいた写真は、生活、住宅、食事などの面で家族の貧困の深刻さを伝えるものであり、日本に暮らす私たちの生活を顧み、自分たちの暮らしと彼らの貧困との関係を考えるよい機会になりました。

ただ今回の報告では、貧困問題の深刻さだけでなく、貧困者の支援そのものの難しさも感じました。築瀬さんが子供の進学など人生設計のために送金したお金が、子供の誕生日のケーキや、実はシャブ中だった両親のシャブの購入に使われていたり、イギリスのテレビ局が貧困支援の番組で、家族に生業として提供した雑貨店の雑貨が、無駄に浪費されてしまっていたり、幼い子供が劣悪な生活環境ため病気で亡くなった直後に、環境が改善されないまま新たな子が産まれたり、といったことに対して、築瀬さんは複雑な気持ちになったそうです。おそらくこれは支援する側とされる側の意識の違いに起因する問題であり、このへんが貧困支援の難しいところだと思いました。（齊藤万丈）



こころとからだをすっきり！ヨガタイム

ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか？ヨガの目的はきれいなポーズをとることではありません。その日の身体がどんなふう動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。もちろん腰痛予防にもいいですよ！ぜひ参加してみてください♪ 講師は石田久美さんです。

★ヨガ：全身をうごかすヨガ

日 時：4月25日（月）

17:00-18:15（OPEN16:45）

場 所：油小路事務所2F

持ち物：動きやすい服装・タオル・飲み物

参加費：無料

*このヨガクラスは、JCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。



J C I L 劇団登場!

3月27日(日)、第30回国際障害者年連続シンポジウム「Coming soon! 差別解消法—街や社会はどう変わる?」にて、J C I L 劇団が上演しました。

1. 「レストランにて 納得できない」
2. 「ふたつの電気屋にて」
3. 「病院での異性介助 あきらめたくない」
4. 「地域生活 ずっとこの家で暮らしたかったのに」
5. 「地域生活 たっちゃんのひとりぐらし」

以上、四つの寸劇が行われました。実際にあった差別事例をもとに台本がつけられた寸劇を、障害当事者が演じることで、とてもわかりやすく参加者のみなさんに、差別とはどんなものなのか肌身にも感じてもらうことができました。



なもののなか肌身にも感じてもらうことができました。

寸劇では、差別にあった嫌な事例だけでなく、差別を受けずに快適に過ごすことのできた好事例も紹介されました。

差別というのは、実際に自分の身になって感じてもらわないとなかなか理解されないものです。その意味

で、リアルに当事者が観客の前で演じるこれらの寸劇は言葉で伝える以上に、差別のつらさ、苦しさを伝えられたと思います。

シンポジウムでは、J C I L の日々の活動や、バリアフリー広

め隊の報告もありました。実際に京都市内の段差や柵を写真で参加者に示し、何がこの京都の街で障害者にとって差別になっているのか、目で見てわかってもらいました。また、スロープ設置、柵撤去などの好事例も紹介しました。自分たちの日々の取り組みの成果を発表できたシンポジウムになりました。



障害者差別劇で訴え

互いの歩み寄りで解消

中京でシンポ

4月に施行される障害者差別解消法を考えるシンポジウムが27日、京都市中京区の京都アスニーであった。障害のある人が日常で直面した差別や課題の劇を通して、来場者も一緒に法施行後の地域社会の在り方に思いを巡らせた。

同法や障害者をめぐる現状への理解を深めようと、日本自立生活センター(南区)や研究者らでつくる実行委員会が開いた。

同センターのメンバーによるJ C I L 劇団が実例に基づく劇を上演した。脳性まひで言語障害がある女性



日常で直面する障害者差別などの実例を紹介した劇 (京都市中京区・京都アスニー)

は冷蔵庫を買おうとしたが伝わらず、「今度家族と一緒に来て」と相手はさげなかつた。「障害があるか」と疑問を投げ掛けた。同センターによると、家族と住んでいるから家族と住んでいると思われたのか。それとも最初からお客として扱われていないのか」と疑問を投げ掛けた。

た。5本の劇を上演し、出演した小泉浩子さん(52) 亀岡市が、「差別は近くに潜んでいるが、互いに歩み寄って解消できる。そのことがお伝えできたらうれしい」と参加者に語り掛けた。

同センターによる京都市内のバリアフリー調査の報告もあり、店の入り口に車いす用のスロープが設置されていても、敷地と道路との境に段差があつて利用が困難な例などが紹介された。(逸見祐介)

【3月28日】
【18時】
【19時】
【20時】
【21時】
【22時】
【23時】
【24時】
【25時】
【26時】
【27時】
【28時】
【29時】
【30時】
【31時】
【32時】
【33時】
【34時】
【35時】
【36時】
【37時】
【38時】
【39時】
【40時】
【41時】
【42時】
【43時】
【44時】
【45時】
【46時】
【47時】
【48時】
【49時】
【50時】
【51時】
【52時】
【53時】
【54時】
【55時】
【56時】
【57時】
【58時】
【59時】
【60時】
【61時】
【62時】
【63時】
【64時】
【65時】
【66時】
【67時】
【68時】
【69時】
【70時】
【71時】
【72時】
【73時】
【74時】
【75時】
【76時】
【77時】
【78時】
【79時】
【80時】
【81時】
【82時】
【83時】
【84時】
【85時】
【86時】
【87時】
【88時】
【89時】
【90時】
【91時】
【92時】
【93時】
【94時】
【95時】
【96時】
【97時】
【98時】
【99時】
【100時】

2016年3月28日
京都新聞朝刊 →

居場所づくり勉強会 第42弾!

NHK 番組鑑賞会：『戦後史証言～日本人は何をめざしてきたのか～』

第6回 障害者福祉 共に暮らせる社会を求めて』 2016年1月16日(土)放送分

今年初め、NHKの番組で障害者運動の歴史が取り上げられました。観た人によると「とてもよかった!」と好評で、せっかくだからみんなで鑑賞会をしようとするにしました。普段なかなか映像で見ることはできない、私たちの「今」につながる運動のこと。この社会をつくってきた奮闘の歴史。ぜひ一緒に鑑賞しましょう!

【番組紹介】

戦後、日本は、障害のある人たちとどう向き合ってきたのか。

戦時中「米食い虫」「非国民」と呼ばれ抑圧されていた障害者。戦後、困窮する傷痍軍人への対策をきっかけに初めて公的な障害者福祉の制度が生まれた。1960年代、重度の障害がある子どもの親たちの訴えがきっかけで、国や自治体は「コロニー」と呼ばれる大規模な施設の建設を推進。障害者施設を充実させていった。

ところが1970年代、障害者たちは、閉鎖的で自由のない施設での生活に不満を訴え始めた。都立施設に入所していた三井絹子さんは「施設は社会のゴミ捨て場だ」と、都庁前にテントを貼り座り込んで抗議。そうした動きを後押ししたのが1981年、国連の「国際障害者年」。障害者も他の人と同じように地域で暮らすべきだという「ノーマライゼーション」の思想が流入、国の政策も施設から地域へと移り変わっていく。元厚生省障害福祉課長の浅野史郎さんは、「これからは地域福祉だ」と制度作りに邁進。宮城県知事に転身後は、知的障害者施設の“解体宣言”を公表した。

今年4月、「障害者差別解消法」が施行される。障害による差別をなくすため自治体や企業、一人一人の意識改革が求められる。高齢化が進み、誰もが病気や障害と無縁でなくなりつつある今、戦後の障害者政策を当事者や政策立案に関わった人たちの証言をもとにたどり、障害のある人もない人も共に暮らせる社会へのヒントを探る。

日 時:4月15日(金)14:00-16:00

場 所:日本自立生センター事務所

参加費:無料

担 当:小泉



原一男監督と考える 70年代の生の軌跡 ～障害・リブ・沖縄～

上映作品「さようならCP」(1972年)・「極私的エロス・恋歌1974」(1974年)

■日時:4月29日(金・祝)13:00-18:30(12:30開場)

■会場:立命館大学朱雀キャンパス5階大ホール JR・地下鉄二条駅すぐ 中京区西ノ京朱雀町1

1960年代を揺るがしたカウンターカルチャーや社会運動のうねりが退潮した70年代前半。自主上映というかたちで、社会を鋭くえぐるドキュメンタリー映画のフィルムが全国を廻り、さまざまな人の出会いや対立、抵抗を呼び覚ましつつ、新たな運動を切り拓いていく先駆けとなりました。

本企画では、原一男監督の初期ドキュメンタリー作品である『さようならCP』と『極私的エロス・恋歌1974』を上映し、原監督を交えて、1972～1974年の障害者運動、ウーマンリブ運動、そして沖縄の運動の軌跡をたどります。

「さようなら」から「極私的」へ。その流れの意味は、社会的な運動が分断されている現在を照らし、運動と生活、ドキュメンタリーとアートの緊張関係、そして映画の在り方を問い直す力につながるはず。70年代を知る／知らない／改めて知りたい人たちが、共に考える機会になれば、と願っています。(詳細 <http://www.arsvi.com/2010/20160429hk.htm>)

■参加費:無料 ■申し込み不要

■プログラム

12:30 開場

13:00-13:02 開会挨拶

13:02-14:24 『さようならCP』上映

14:25-14:40 報告1:障がい者運動と自主上映...立岩真也

14:50-16:28 『極私的エロス・恋歌1974』上映

16:30-16:40 報告2:ウーマンリブと「性」...村上潔

16:40-16:50 報告3:沖縄返還前後の闘争...大野光明

17:00-18:30 全体討議:対話に向けて/1970年代～交錯する運動

原一男監督を囲んで(進行:岡本晃明)



* 車いすでのご入場には誘導が必要になりますので、入口でスタッフに車いすで入場する旨をお伝えください。

* 会場には駐車場がありません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

■ 主催:原一男作品上映実行委員会・京都 共催 立命館大学生存学研究センター

■ お問い合わせ:原一男作品上映実行委員会・京都 Email: fourwallingkyoto@gmail.com